

違ったっていい。違ってらからいい。

映画



上映会 +
意見交換会



近年、フランスは「多様性」に揺れている。シャルリー・エブド襲撃事件、パリでの「テロ」、反イスラムや移民排斥を掲げる政党、国民戦線(FN)の躍進…。

一方で、今日も多くの移民がフランスにやって来て生活を始める。「バベルの学校」は、アイルランド、セネガル、ブラジル、モロッコ、中国など世界中からフランスに来て、新生活を始めた10代の若者が過ごすある中学校の適応クラスを対象にしたドキュメンタリー映画。多様な文化や宗教をもつ彼・彼女らは、そうした違いをどのように受け止め、乗り越えようとするのだろうか。

上映後には、フランスの適応教室についての解説と岡山の在日ブラジル人コミュニティの暮らしについてもコメントをいただき、「多様な社会」について参加者で意見交換を行う予定です。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

監督:ジュリー・ベルトウチェリ 原題: La Cour de Babel
配給:ユナイテッドピープル 後援:在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本
フランス/2013年/フランス語/89分/1.85:1/カラー/5.1ch/ドキュメンタリー
オフィシャルサイト <http://unitedpeople.jp/babel/>

2016

2/5 Fri
17:30 - 20:30

参加費無料
申し込み不要
どなたでも
ご参加いただけます

場所

岡山大学津島キャンパス
文法経講義棟 10 番教室

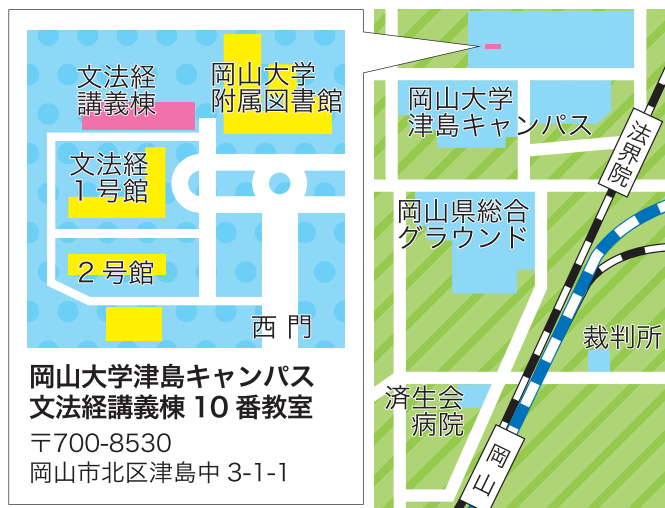
コメント

譚俊偉 (総社市役所人権まちづくり課 多文化共生推進委員・
総社ブラジル人コミュニティ&インターナショナルフレンズ)

「岡山に暮らすブラジル人の若者たち」

金子真 (岡山大学文学部准教授)

「フランスの適応教室について」



【主催】2015年度岡山大学文学部プロジェクト研究

国家・言語・文化の「境界」をめぐる学際的研究&貧困とマイノリティ/マージナリティ:人文・社会諸科学による学際的アプローチ

【問い合わせ先】岡山大学文学部 高谷幸 TEL 086-251-8538 E-MAIL takayasachi@okayama-u.ac.jp
大貫俊夫 TEL 086-251-7412